

## 学校公開の御案内

日時 平成22年1月23日(土) 8:50～15:20  
場所 松山聾学校 各教室および体育館・運動場など  
内容 授業参観…全校の授業を終日公開します。

松山聾学校・『第2回学校公開』を、平成22年1月23日に開催します。終日、すべての授業を公開いたしますので、聴覚障害教育に関心のある方は、ぜひお越しください。

学校公開に併せ、聴覚障害教育福祉協会主催による移動母子教室を開催します。たくさんの方々の御参加をお待ちしています。



講師 帝京大学名誉教授、田中美郷教育研究所所長

よしさと  
**田中 美郷** 先生

演題 『聴覚学習と手話について』

期日 13:45～15:15

会場 松山聾学校 (寄宿舍一階 娯楽室)

その他 参加費無料  
手話通訳による情報保障有り。  
どなたでも参加できます。

【田中美郷先生の略歴等】

信州大学医学部附属病院講師(耳鼻咽喉科)、国立聴力言語障害センター聴能課長、帝京大学医学部助教授(耳鼻咽喉科)、帝京大学文学部兼医学教授、上智大学大学院言語障害研究コース非常勤講師、帝京大学文学部教授・医学部非常勤講師を歴任。平成11年3月帝京大学を退職後、現在、帝京大学名誉教授、身体障害者福祉審議会委員、田中美郷教育研究所所長として御活躍。

田中美郷教育研究所は、過去40年にわたり聴覚障害児をはじめとするさまざまなコミュニケーション障害児の検査・診断・治療に携わった田中美郷先生の実践的研究所です。詳しくは、ホームページを御覧ください。

研究所の紀要…

『高度難聴児および人工内耳児の聴能・言語指導法—トップダウン方式(top down approach)—』  
田中美郷教育研究所(2003)ほか

## 3団体(愛媛県聴覚障害者協会、愛媛県手話サークル連絡協議会、全国手話通訳問題研究会愛媛支部) 学習会の御案内

3団体学習会 コミュニケーションを学ぼう!!

手話表現の「基礎」とも言える【身体表現】や【イメージ】を思いっきり身体を使って楽しく学んでみよう!

日時 2010年1月17日(日) 10:00～15:00  
14:00～15:00は、ゲームで楽しもう♪

場所 愛媛県視聴覚福祉センター 4階 多目的室

講師 梶原 剛氏(まつやまアーツマネジメント)

参加費 一般1,000円

※ゲーム時に体を動かしますので、動きやすい服装(ズボンが最適)で来てください。

申込先 愛媛県聴覚障害者協会

FAX 089-923-7928

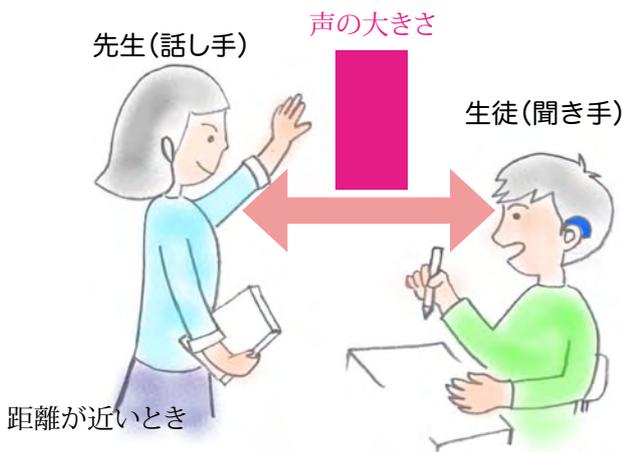
締切 2010年1月8日(金)

# 特集：FM補聴援助システム

一対一で向かい合ったときは、聞こえに不自由さを感じないのに、交流学級での授業やグループ討議、集会や全校行事などの活動では、聞こえに不便さを感じることがあります。

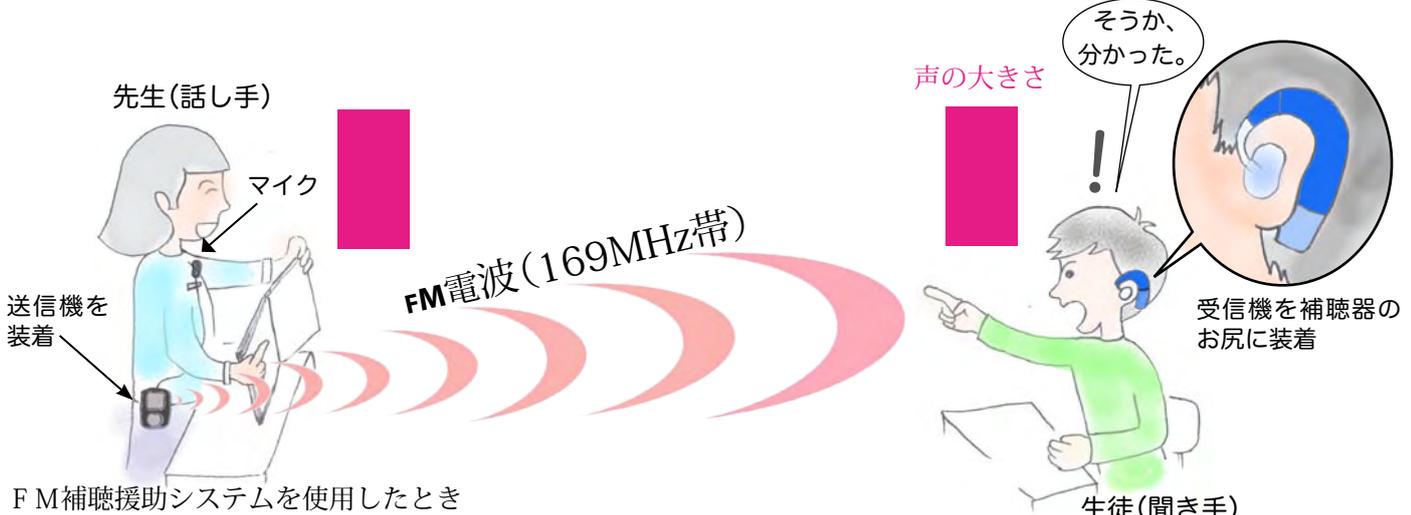
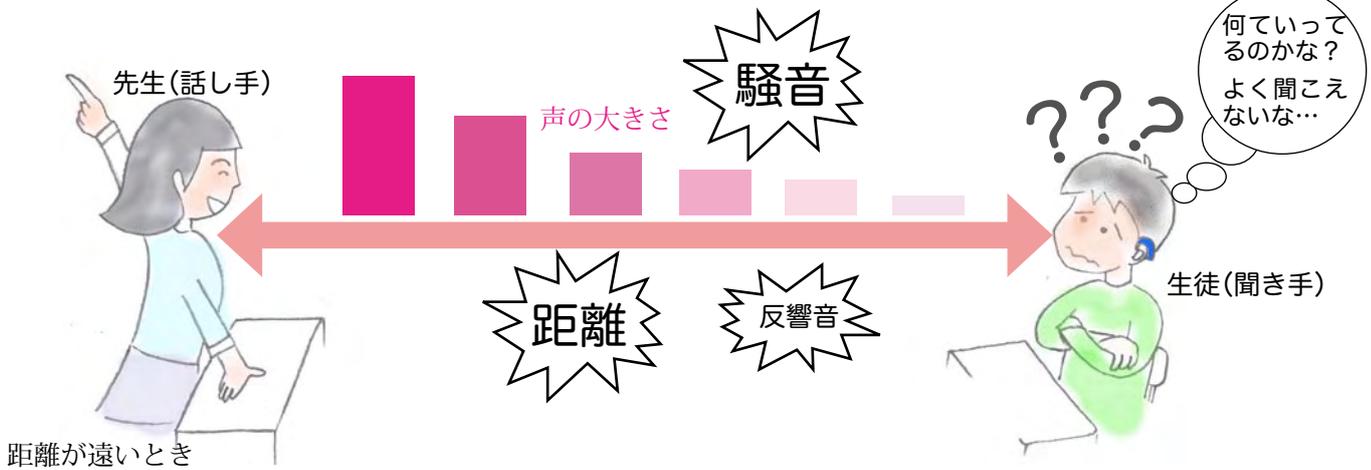
下の絵のように、話し手と聞き手が離れているときや、周囲の騒音や話し声などで、補聴器や人工内耳を利用して聞き取りが難しいときは、FM補聴援助システムを検討してもよいでしょう。

FM補聴援助システムは、右のような4つの補聴器メーカーのものがああります。メンテナンス、機能を考慮すると、使用している補聴器と同メーカーのシステムを選ぶのがよいかと思われます。また、受信機と送信機は、同じメーカーの組み合わせが安心して利用できます。



ワイデックスやリオンのFMシステムは、オーチコン社のOEMブランドです。

オーチコン社 アミーゴ	ワイデックス社 スコラ	リオン社 S20
----------------	----------------	-------------



### マイクについて

マイクのコードはアンテナの役目をしています。

コードは、巻いたりねじったりしないで、しっかり伸ばした状態で装着します。



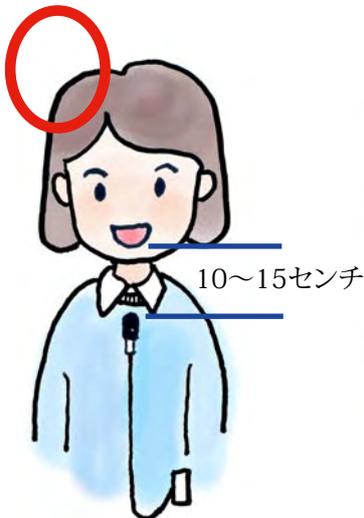
ブームマイクは、より口元に近づけることができます。



叫んだりすると、音がゆがみ、聞こえにくくなります。普通の大きさの声で話しましょう。

### マイクの位置に気を付けよう!

マイクの装着の仕方、聞こえていないこともあります。



マイクの位置は、口元から、10~15cm真下につけます。



マイクがよそを向いちゃてる。



マイクが服の内側に……。服でこすれて、雑音が多い。



低すぎ!



寒くなってくると、ついつい、マイクの上から上着を着てしまう。

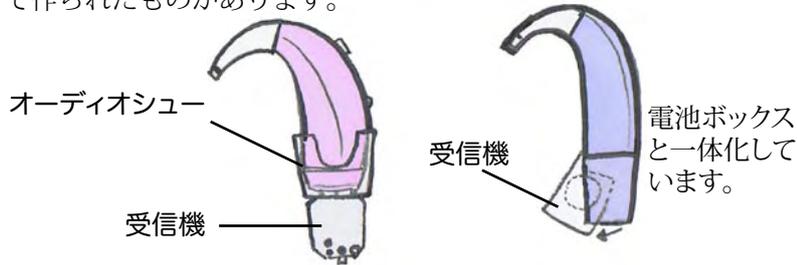
### 授業前や、FMシステムの使い始めに、作動状況をチェックしよう!

名前を呼んだりただけでは、先生のつけているFMマイクからの声なのか、補聴器のマイクで拾った音なのか確認しにくい。授業前などは必ず、マイクの先をカリカリとひっかいて、子どもにFMの音が聞こえているかどうか確認しましょう。



### 補聴器と受信機をどのようにつなぐか。

受信機は、補聴器との間に、オーディオシューというものをはさんで使用するタイプと、補聴器に合わせて製品化されたものがあります。オーディオシューは、補聴器の機種に合わせて、各メーカーで作られたものがあります。



★FM補聴器については次のようなパンフレットが参考になります。

○補聴器メーカーのリオンのFMシステムの冊子です。  
<http://www.rion.co.jp/products/communication/pdf/fm-system.pdf>

○フォナックから詳しいパンフレットが出ています。  
[http://www.phonak.jp/products/images/fmsystem/pdf/FMpamph\\_Ver3.pdf](http://www.phonak.jp/products/images/fmsystem/pdf/FMpamph_Ver3.pdf)

○日本教育オーディオロジー研究会のホームページからは、FMについての分かりやすい冊子がダウンロードできます。  
<http://www.normanet.ne.jp/~eaa/>

### 同じ教室に二人以上いる場合…

話す先生が一人の場合、FMマイク1台で、複数の子どもの受信機に伝えることができます。いつもは別々の授業だけど交流や集会など一緒に授業を受ける場合には、受信機を同じチャンネルに設定し直して使います。同じチャンネルの送信機を2台同時に使うことはできません。

また、FM電波は30メートル前後飛びます。となりの教室など、別々の指導になる時は、混信しないようにチャンネルを戻すようにします。



### 耳穴形の補聴器の場合は…

誘導コイル (Tコイル、テレホンコイル) のある耳穴形の補聴器や、TやMTのある耳掛け形補聴器の場合には、首に掛けたループ (ひも) からの磁波によって、補聴器の誘導コイルに音を伝え、明りょうな音を聞くことができます。

